

授業科目

基礎作業学概論

科目コード番号

【担当教員名】 榎本郁子、永井洋一、岡村太郎	対 象 学 年	1	対 象 学 科	作業
	開 講 時 期	前期	必修・選択	必修
	単 位 数	1	時 間 数	15

【概要】
作業療法の基礎学として人間の作業行為を、生物学的、心理的、社会的、文化的関係から考え、体験を通して作業療法の基礎知識を学習する

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	作業・その治療的応用	日本作業療法士協会編著	共同医書出版	1999 (第2版) ¥8,500E
参考書	授業中に紹介する			
その他配布資料	プリント			

【評価方法】
出席、授業参加態度、提出物、試験の総合評価

【履修上の留意点】
提出物の機嫌厳守

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

作業療法に必要な基礎知識を自分の言葉として表現できるようにするために、講義・体験を通して「作業」を理解する

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 人と生活の歴史を説明できる
2. 人間と作業、作業と生活、作業と健康、作業と文化の関わりを述べられる
3. 「作業」のとらえ方と見を自分の言葉で述べられる
4. 作業療法の定義を述べられる
5. 作業分析の方法には、目的に応じていくつかの方法があることを理解し、説明できる
6. 作業分析の方法をあげられる
7. 作業活動を通して、作業分析の枠組みを説明できる
8. 作業活動を通して、材料分析ができる
9. 作業活動を通して、工程分析ができる
10. 作業活動を通して、身体的影響を述べられる
11. 作業活動を通して、精神的影響を述べられる
12. 作業療法士が作業を用いる意義を述べられる

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	オリエンテーション 1. 作業学の構造 1) 作業学の定義 2) 人間の生活と作業の歴史 2. 作業の分類 1) 作業と生活 2) 作業と健康 3) 作業と文化	4 1. 2 1 2. 3	榎本	講義	毎回修得チェックリスト(個人学習) 24時間生活作業調査 プリント
2	24時間生活作業調査	2. 3	同上	グループ学習 発表	
3	1. 作業適応の知識 1) 作業分析の歴史的意義 2) 還元主義的作業分析 3) 包括的・限定的作業分析 2. 作業実習	5. 6 7. 8 9 3	同上 同上	講義 グループ学習	プリント グループで作業を考え、作品を作る準備
4	作業実習(作品作り)	7 8. 9	同上	グループ	
5	作業の生理学的分析	10	永井・榎本	講義 体験	プリント
6	作業の精神的・心理的分析	11	岡村・榎本	講義 体験	
7	まとめ 1) 作品紹介・作業分析発表 2) 修得チェックリストの確認	5. 6. 7 . 8. 9 3. 12	榎本	グループ 講義	

その他 回数と授業内容の変更はありうる